



PHOTO



香織さん 拓也さんに贈る
世界でたった一冊の絵本

結婚おめでとう。
これからもずっと仲良くね。

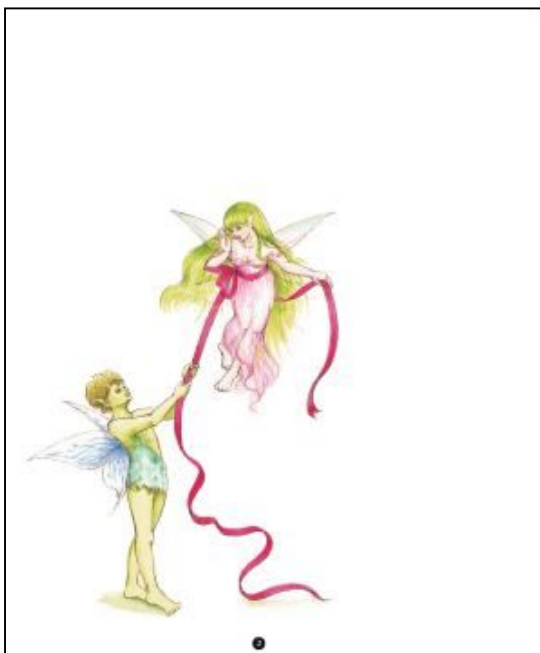
2002年9月29日
友人一同

リースのまるい輪のかたちは
くり返される いのちの輝きのしるし。
冬枯れを経て またよみがえる
春の芽吹きのように
決して つきることのない生命力への賛歌です。

西洋では 人生の様々なシーンを記念して
思いでの品々を飾った
アニバーサリー リースを作ります。

香織さん、拓也さん、
おふたりの結婚を祝って、
めぐる季節の花々を1年ぶん
すべてリースにして お贈りします。
この幸せが
永遠に続くことを祈って。





毛利香織さん
島田拓也さんの

結婚を祝して

アニバーサリー リース

中村祥子 作・絵

クリエイトアブック

春は はじまりの季節。
新しい恋
出会い
門出……。
香織さん、拓也さん、
おふたりの なれそめは
いつでしたか？





March
3月

パンジーは、愛の神エロスの分身。

花ことばは
「私を想って」「思い出」「記念品」

恋人達の最初の想いを
溜めておくのにふさわしいリースです。

香織さん、拓也さん、
はじめてあったときの思い出を
どうぞ、大切に。

April
4月

復活祭のルーツは 春の訪れを祝うお祭。
そのシンボルは
タマゴ、ウサギ、イースターリリー、
そして ヒナギク。

ヒナギクは「独身者のボタン」と呼ばれています。
むかし、求婚する若者がポケットに忍ばせ、
枯れるまでに 恋人のもとに
たどりつけるかどうかで
結婚の正否を占ったとか。

香織さん、拓也さん、
初々しい気持ちを いつまでも。



May
5月



フランスでは 5月1日がスズランの日。
幸運を祈ってスズランを贈り合います。
花ことばは「幸福が戻ってくる」

春のくだもの、イチゴの花の花ことばは
「あなたは私をよろこばせる」
赤い実は 媚薬ともされる愛の果実。
チューリップも 愛の花です。

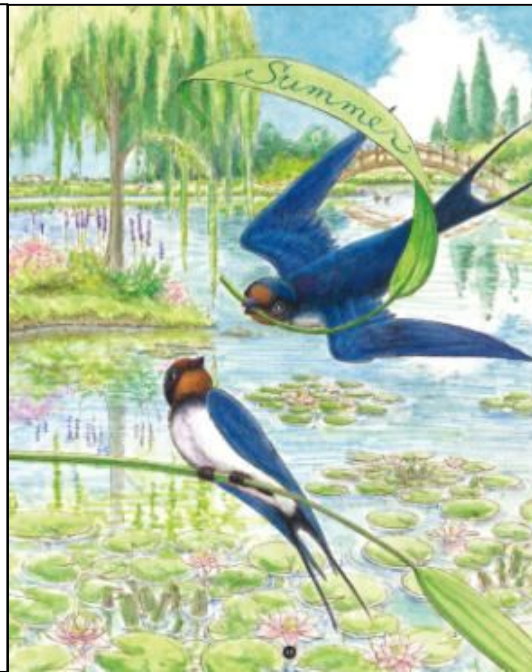
香織さん、拓也さん、
愛と幸福の花々をどうぞ受け取ってください。

夏は 輝きの季節。

陽光の中
すべての生命が燃えさかるとき。

恋もまた 頂点に。

香織さん、拓也さん、
おふたりが 恋人同士になったのは
いつでしたか？



June
6月



6月24日の中夏節は
葉草の力が増す魔法の日。
未婚の乙女たちは この日の前夜
いろいろな占いを ころもみて
花嫁となる日に 思いを馳せました。

そんな古いおまじないのひとつが
「サムシング・ブルー」
花嫁が 何か青いものをひとつ 身につけていると
幸福な結婚生活を約束される、というものです。

香織さん、拓也さん、
サムシング・ブルーの魔法をかけたリースをどうぞ。

July

7月

7月7日、平安時代の人々は
おけにはった水面に 天の川の星々を映して、
牽牛星と 織女星の 逢瀬を祝いました。

天を映す水にうかぶスイレンは 気高い花。
花ことばは「信頼」「純潔」
その種子はむかし、女性の浮気心を
静める薬として、使われたそうです。

香織さん、拓也さん、
信頼のきずなを深める
すきとおった水のリースを おふたりに。





August
8月

夏のさかりには、暑さの中でも
瑞々しさを失わない熱帯の花々を。

アンセリウムの花ことばは「恋の成就」
ハート形の姿からの すなおな連想です。
ハートの形は もとは心臓のかたち。
古代の人々は
心臓に「心」があると 考えていたからです。

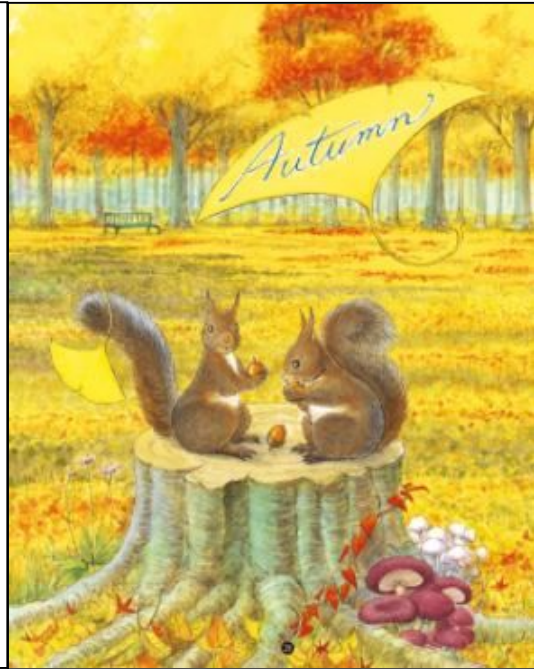
香織さん、拓也さん、
恋が成就したその時の
プロポーズの言葉を 覚えていますか？

秋は 実りの季節。

穀物は重い穂をたれ、
果樹がつややかな実をつけるとき。

恋人たちも
恋の情熱を 愛の実りに変えてゆきます。

香織さん、拓也さん、
おふたりが 共に歩もうと決めたのは
いつでしたか？





September
9月

リンドウの花ことばは
「あなたが悲しんでいる時
私はあなたを 最も愛する」

ローズマリーは
「あなたが来てくれたので
私の心の悩みが消え去った」

心にかげりが差すときは
幸せな時以上に
愛の力がためされるものです。

香織さん、拓也さん、
時にはこんな なぐさめの花を
お互いの ささえに。

そう、この月、2002年の9月29日、
レストラン Fuで
おふたりは結ばれたのでしたね。
それぞれの友人達も祝福してくれました。
もういちど、心から「おめでとう」を言います。

October
10月

10月のバラは 春よりも深い色に咲くと言います。

満開のトゲあるバラの花ことばは「結婚」
満開なのは 愛が今、頂点にあることのあかし。
トゲは 様々な苦勞の暗示です。

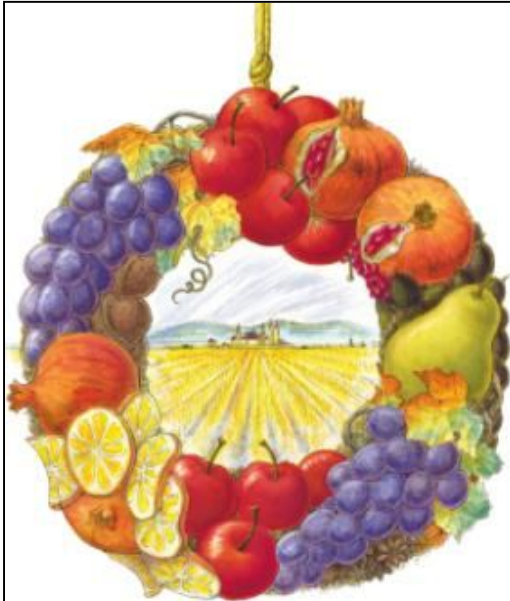
アイビーの花言葉も「結婚」
からみ合うツルは 支えあう夫婦のきずなを表す一
方、
簡単に離れられない しがらみをも象徴します。

結婚生活は そう甘くはないという 昔の人の教訓。

香織さん、拓也さん、
船橋市で 生活をおくれる おふたりに
少し辛口のはなむけです。



November
11月



11月は収穫祭の月。

ザクロやオレンジは豊穡と多産のシンボル。
リンゴは「誘惑」
ブドウは「思いやり」「ほどこしもの」

少しずつ意味は違うけれど
果実の恵み深い美しさは
宝石と同じように 豊かでぜいたくです。

香織さん、拓也さん、
おふたりの未来が
みのり多いもので ありますように。

冬は よみがえりの季節。

すっかり葉を落とした梢も
雪におおわれた地面も
やがてそこに
小さな芽生えを はぐくみます。

愛もまた 時にまったく姿をかくしていても
その輝きを失うことなく
心の内に あり続けます。

香織さん、拓也さん、
永遠に変わらぬ愛が
見えますか？





December
12月

常緑のモミは永遠のしるし。

ヒイラギの赤い実は「愛」
緑の葉は「信仰と希望」
白い花は「純潔」

クリスマスローズは 幼な子イエスの
誕生を祝って 雪の中から生まれました。

香織さん、拓也さん、
聖夜をいろどる これらの植物が
おふたりの あたたかい家庭を
祝福してくれますように。

January

1月

東洋では 黄色の花は富のシンボルとされています。

新春に まっさきに咲く
黄金色の福寿草は
その名の通りの 幸運の花。

水仙も 銀の台に金の杯を持つ 宝の花。

あふれるばかりに花をつけたミモザも
あしらって。

香織さん、拓也さん、
おふたりが 豊かに暮らすことを祈って
贈る 輝く金のリースです。





February
2月

あらゆる花の まだ固く青いつぼみ。
あらゆる草の まだ若い青葉。

これらには すべて「希望」という
花ことばがつけられています。

香織さん、拓也さん、
最後に贈るのは「希望」のリースです。

どうぞ いつでも希望を胸に
おふたりが 末永く
共に 歩んでいけますように。